

お知らせ

課名	畜産課
担当者	岡田・佐藤
内線	3865・3867
直通	086-226-7431

野生イノシシに対する豚熱経口ワクチンの散布を開始します

野生イノシシを介する豚熱の飼養豚等への感染リスクを低減させるため、野生イノシシに対する経口ワクチンの散布を実施しますのでお知らせします。

記

1 散布の概要

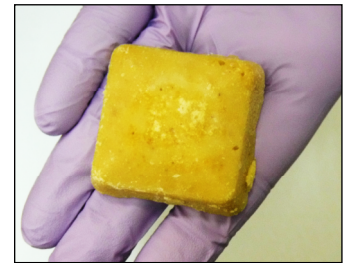
- (1) 実施時期 2月中旬から3月下旬
(2月中旬に餌付けを開始し、約4週間間隔で2回散布予定)
- (2) 散布地域 備前市及び美作市の山林等(計23地点に920個)

2 実施主体

岡山県豚伝染性疾病まん延防止協議会(事務局 岡山県農林水産部畜産課)
※構成: 養豚業者、畜産関係団体、(一社)岡山県猟友会、市町村、県

3 経口ワクチンについて

- (1) ワクチンが入った包をトウモロコシ粉等で固めた四角形の固体です。
- (2) ワクチンを摂取した野生イノシシの肉を食べても人の健康に影響はないと、国の食品安全委員会で評価されています。
- (3) 他の動物が摂取しても影響はありません。
- (4) 他の動物が食べにくいようにワクチンを土壌に埋める等します。
- (5) 食べ残したワクチンは摂食率調査などのため回収します。



経口ワクチン

4 その他

- 豚熱は豚やイノシシの病気であり、人に感染することはありません。
- 野生イノシシは警戒心が強く、経口ワクチンの誘引に影響を与える恐れがあることから、散布対象地域での取材(ヘリコプターやドローンを使用するの取材を含む)は厳に慎むよう御協力をお願いいたします。本件の取材については畜産課でお受けします。散布等の写真は後日提供可能です。
- また、家畜防疫上の観点から、養豚場等での取材は厳に慎むよう御協力をお願いいたします。